

令和7年度 後三年鴻声の里 地域連携推進会議議事録

実施日時	令和7年9月24日(水)	司会者	武藤 悟
	13時10分 ~ 14時45分	記録者	武藤 悟
出席者	<p>【構成員】6名 入所者代表……………1名(男性利用者) 保護者代表……………1名(保護者会役員) 地域の関係者……………1名(民生委員) 福祉・経営に知見のある人…1名(元介護施設施設長) 市町村担当者……………2名(役場職員)</p> <p>【施設職員】2名 施設長 サービス管理責任者</p>		
協議内容	1. 施設長挨拶		
	今日は来訪頂き大変ありがたい。入所施設はワンストップで終結してしまうことが多く、連携という部分においては欠けている。いつでも施設へ来て見てもらう必要があると思っている。感染症対策への理解とさじ加減が難しいと思っているがご理解のほどよろしく願いたい。		
	2. 構成員の紹介		
	入居者代表は男性利用者さん、保護者代表は男性利用者保護者さん、地域の関係者は民生委員の方 福祉・経営に知見のある方は元施設管理者、市町村担当者は援護地から参加いただく		
	3. 議題		
	○施設内見学と日常生活について		
	作業はどんなことをしているか？ →町の委託のキャンプ場清掃、業者の広告折り、ポリパック		
	食事はどうか？→すべておいしい、ムース食までである		
	寝たきりの方はいるか？現在はいない		
	保護者会の役割の中身は？各季節の主行事への補助、保護者職員同士の旅行		
	サマーフェスティバルはどんな感じか？→夜の実施にしていたが家族や利用者さんの高齢に伴い		
	R7年度から日中に実施しにぎやかに実施できた。		

協	OBCPについて	
	災害対策について→施設としてマニュアルはある。町民等の受け入れについてはもう1度確認して	
	いく必要がある。3.11や最近の自然災害を想定しながら常に準備の意識が必要と思う	
	感染症対策について→新型コロナが弱毒化しているが、時期によって流行がみられる。またインフルエンザや百日咳など従来からあったものが時期を関係なく発生している。集団生活を基本としている入所施設としては、利用者さんの健康が第一。ただ社会とのつながりが薄れていくことを懸念しているし、今後もどうにかしたいとジレンマがある。備蓄については食料や感染症対策グッズは問題なくある。	
	○苦情・要望について	
	入所施設は年2回苦情解決第三者委員会を開き、利用者さんや保護者さんから出る貴重な意見の	
	吸い上げやそれを共有する機会を設けている。R7前期は3件ほどあり、第三者委員へ報告している。	
	苦情内容 ①利用者さんの送迎時のあいさつ ②保護者向けの文書について ③担任が変わった際の	
	引継ぎについて小さいことから、要望といった点についてもなるべく目を向けて、貴重な言葉が薄れないようにしている。	
	議	○講評
家族代表		～ 今後もなにかあれば会長として一役かえればと思っている。風通しのよい施設を目指してほしい
利用者さん代表		～ 他の利用者と今後も仲良くして暮らしていきたい
福祉・経営代表		～ 施設内に入っていろんなことを見ることができよかった。利用者さんがなにより楽しそうであった。感染症の観点を考えると交流はまだ時間がかかりそうだが、今後もお互い頑張っていきたいと思う
地域代表		～ 障がいのある方を支援することは誰でもすぐにできるわけではない。様々な場面で難儀していると思う。職員不足もあると思うがどうマッチングしていくかがどの仕事もキーだと思っている。
行政より		～ 直接話し合う機会を設けてもらい貴重な時間となった。改めて入所施設は関りが広いと思った。これからはこちらからも機会を作っていきたい。今後も途切れることなくお付き合いをしていきたいし利用者さんのためによろしく願う。

